

みなみかぜだより

平成29年
3月号



節分 (豆まき)

すみれ通り

二月二日(木)すみれ通りにて、一年の福を呼び込むに豆まきを行いました。

鬼に扮した職員が登場すると、全員で「鬼は外、福は内」と大きな声で豆を投げて鬼を退治、うまく鬼に豆が当たると「今年はお福がくっ」と楽しんでおられました。また、遠くから「鬼早くこっちこんかー福がこんかー」と鬼を呼ぶ方も投げないで食べようとする方もいらっしやいました。二十分程度の豆まきではありましたが皆様喜んで参加され、豆まきの後は全員で煮豆をおいしくいただきました。

今年も一年、皆様により多くの福が訪れる事を願っています。



野菜鍋と餃子

デイケア

二月十五日(水)デイケアでは栄養士の提案により、昼食を野菜鍋と餃子にしました。

今回は利用者様と一緒に一から作る時間が取れず、皆様には出来上がった鍋をよそっていただく手伝いや、配る手伝いをしていただきました。味の方は、鍋・餃子両方ともおいしかった様で、利用者様も喜んでいました。

今後とも季節に合った料理など、利用者様に喜んでいただけるお食事を提供できる様に考えていきたいと思っております。



麻痺がある方の更衣介助について

三月三日にご家族様・デイケア利用者様を対象に『着替え方と服の選び方』と題しまして介護教室を開催予定でしたが、面会制限の中止となりましたので、ここで簡単に紹介させて頂きたいと思っております。

片麻痺の方の上着の着替え方について説明させていただきます。

麻痺のある方の着替えは、出来るだけ本人にして頂く事が大切です。「麻痺があるから大変そう」とすべてを介助してしまうと、出来る事も出来なくなってしまう逆効果です。

「ご本人が着替えを自ら行う事で自信になり、リハビリにもなります。見守る中で危険だと判断した時や、本人にとってストレスになる様な場合は、即座に介助してあげましょう。」

ストレスになる場合 ↓ 腕がなかなか通らない、衣類が何かしら引っかかって上手く脱げない・着れない場合など。

少しの手助けでストレスは軽減されます。

「衣類を持って腕を通しやすくしてあげたり、引っかかっている部分を直してあげるなどの介助」紙面のスペースも限られていますので、すべてを説明する事は出来ませんが、普段の介護で不便に思っている事等、何でも構いませんので、お気軽に職員までお尋ねください。



第十二回

花瀬公園まつり 駅伝大会

春の訪れと共に今年も「花瀬公園まつり駅伝大会」の季節がやってきました。三月十九日(日)に開催予定で、今年も当施設から選手を集い「みなみかぜ」チームとして参加させていただきます。

前回、第十一次大会では念願の「繰り上げスタートなし」を達成し、見事、最後までタスキを繋ぐ事ができました。数名の選手交代を行い、今年も全員でタスキを繋いで好タイムを出せるように頑張りたいと思います。みなみかぜチームを見かけた際はご声援よろしくお願ひします！

